

積雪期限定の景鶴山へ行ってきました

日時 : 4月 28-29日 (金・土)

場所 : 尾瀬 至仏山 景鶴山

参加者 : S井L、I谷、W田e、W部h、O田、K志田SL (記)、

コース : 初日 ; 鳩待峠 6:20-至仏山 10:00-山ノ鼻小屋 12:10-竜宮小屋 14:00

2日目 ; 竜宮小屋 4:50-与作岳 8:00-景鶴山 9:20-与作岳 10:30-竜宮小屋 12:50/13:10-山ノ鼻小屋 14:10-鳩待峠 15:45

前泊し、初日は戸倉駐車場へ6時前に着き、6時にタクシーで鳩待峠に向かう。快晴で風なしの絶好の登山日だ。この時期、鳩待峠までは自家用車で入ることができるが、駐車スペースが狭く、早朝というか深夜に満車となるため、タクシーで向かった。鳩待峠の至仏山登山口で早速アイゼンを装着し、悪沢岳分岐までの急坂を登る。木立の間から真っ白な至仏山が垣間見られる。振り向けば真っ黒な燧ヶ岳も姿を表す。悪沢岳分岐で稜線に出て、小至仏山に向かうが、小至仏山はトラバースする。背後には真っ白な上州武尊が壁となるが、やけに近い。至仏山直下は、がれ場をアイゼン履きで慎重に進むと、多数の登山者でひしめく至仏山頂上に達した。早速、記念写真と、周囲の山々写真とともに、明日登る景

鶴山を確認する。下りは、積雪期定(無積雪期は植生保護のため下りは禁止)の山の鼻まで直接下る事ができる。木製階段の保護のためアイゼンの脱着、装着を繰り返す、山の鼻へ。さらに、宿泊場所の竜宮小屋へと進む。

2日日も晴天に恵まれ、無風の登山日の中を、300名山で群馬百名

山であるが、登山道がなく積雪期限定の山である景鶴山へ向かう。竜宮小屋を出ると目の前に景鶴山を望めるが、2000mを超す山で、標高1400mの小屋から600mの上りとなる、なかなか手強い山である。この景鶴山へは東電小屋直近の笹山から着手するためここへ向かうが、この時期、笹山口前のヨッピー吊橋は木板が取り除かれ、狭い鉄板の上を慎重に進む、最初の関門である。さらに、笹山先の稜線までの雪解け早く、笹原を藪こぎしながら進むため、ルートファインディングともに第2の関門となる。笹山すぎると雪面があらわれ、与作岳に向けて急坂を登る。与作岳からは、槍状の景鶴山画素の姿を表す。最後の登りは、急登の雪面を登り、バックを岩下に仮置き大岩をよじ登り、さらに狭い稜線を雪庇を避けて進

み、いくつかの岩場をすぎると小さな看板の景鶴山頂上に到着した。

300名山、群馬百名山のピークを踏めた、楽しい山行であった。

